

八王子市議会議員

みのべ 弥生 ニュース



MINOBE
YAYOI
NEWS
VOL. 35



住所:八王子市別所2-49-2-604
TEL:042-675-0119 メール:yayoi@minobe8.com

twitter



LINE@



facebook



Instagram



会議録



映像中継



みのべ弥生の一般質問、各委員会、分科会、予算決算等審査特別委員会での発言が、画像(一般質問のみ)と原稿でご覧いただけます。

ごあいさつ

2022年、新しい年がスタートいたしました！

昨年は、都議会議員選挙、衆議院議員総選挙と2つの大きな選挙があり、多くの皆様から力強いご支持を賜りました。心より感謝を申し上げますとともに、皆さまのご期待にお応えできるよう、私自身力を尽くしてまいります！

本年も、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

皆様のお声がカタチに！



別所小学校北側のT字路にショートカット防止を促す目的で【三角マーク】を設置。



大塚・八王子テニススクール付近の歩道の草刈り。

令和3年市議会 第4回定例会 ☆ 一般質問

南大沢スマートシティ 実施計画について



スマートシティとは、ICT等の新技術を活用して、都市や地域が抱える課題の解決を行う、先行的な実現の場のこと。現在5ヶ所で実証実験が行われており、その1ヶ所が南大沢。

【問】大学生の斬新な発想や、地元企業の先端技術を生かす取組が必要では。

【都市計画部長】先端技術を有する市内企業に、実証実験等への参画を促す。都立大学以外についても、同様の働きかけが可能か、都に確認する。

【問】市の施策である「てくポ」と連携すべきでは。

【都市計画部長】大変有効な手法であると考える。都に働きかける。

【問】長期ビジョンや都市計画マスタープランなど、市の上位計画に、スマートシティの推進に向けた考え方を示すべきでは。

【駒沢副市長】本市の特性を踏まえたスマートシティの推進に向けた考え方について示していく。

居住に課題を抱える方々への支援について

居住に課題を抱える方々とは、高齢者、障がい者、外国人、被災者など、民間賃貸住宅では入居拒否の傾向がある方々のこと。

八王子市では子育て世代に対して「住宅セーフティネット制度」を活用し、民間賃貸住宅に「家賃低廉化補助」を実施しているが、対象を高齢者・障がい者にも広げることを強く要望！

豊島区では、「共生ハウス西池袋」という高齢者や障害者、生活困窮者向けの住宅を、近隣の介護サービス事業者や交流拠点と連携し、地域で生活弱者を支えるプロジェクトをスタートさせた。

【問】本市でも、多数存在する空き家の活用策として取り組むべきでは。

【まちなみ整備部長】「共生ハウス西池袋」は、先進的な取り組みであると捉えている。今後の居住支援の取組を進めるうえでの参考したい。

【問】居住に課題を抱える方々への支援について市長はどう取り組むのか。

【市長】入居可能な住宅の紹介と併せて、入居後の生活が成り立つサポートが重要であると認識している。

そのためには、住宅、医療、介護、生活支援に渡る横断的な取り組みを強化するとともに、民間の多様な主体と連携・協働し、総合的な居住支援を推進していく。

*スマートフォンアプリを使い、歩いたり、バランスよく食べたり、ボランティアしたり、脳や体にいいことをポイントをためる仕組みです。ためたポイントは市内の店舗で使用することができます。